

(社) 日本原子力学会 標準委員会
システム安全専門部会 水化学管理分科会
第6回 PWR 化学分析作業会 議事要旨 (案)

1. 日時 2008年11月17日(月) 13:30~17:00

2. 場所 日本原子力発電(株) 第5-B会議室

3. 出席者(順不同、敬称略)

【出席委員】水野(主査)、笠原(副主査)、松浦、大橋、佐藤、梅原、芥川(幹事)

【欠席委員】

【オブザーバー】久宗、猪俣

4. 配布資料

P11WG6-1 第5回 PWR 化学分析作業会 議事要旨(案)

P11WG6-2 共通関連事項の草案

P11WG6-3 PWR 化学分析標準(ほう素)分析法原案

P11WG6-4 溶存水素の分析法原案

P11WG6-5 放射射性よう素の分析法原案

5. 議事要旨

議事に先立ち、芥川幹事より委員7名中7名が出席しており、本会議が決議に必要な常定数(委員総数の3分の2以上)を満足していることが報告された。

(1) 前回作業会議事の承認

- ・資料 P11WG6-1 により、前回の PWR 化学分析作業会(第5回)の議事要旨(案)が芥川幹事より説明され、承認された。

(2) 共通関連事項の草案について

- ・水野主査より、資料 P11WG6-2 に基づき共通関連事項の改訂案の説明があった。引用規格は付表とせず、「2 引用規格」に記載する。
- ・化学分析方法通則は“JIS K 0005”となっているが、“JIS K 0050”が正しいため修正する。

(3) ほう素の分析法原案について

- ・笠原委員より、資料 P11WG6-3 に基づきほう素分析手順の改訂案について説明があった。ほう酸水およびフタル酸水素カリウム標準溶液(KAP)の密度は、総合分析誤差等を考慮のうえ、次回の水化学管理分科会までに数値および表記方法を決定する。なお、ほう酸水の密度については、文献にある計算式より算出することで了承された。

- ・ 現在個別に作成しているほう素分析原案と共通関連事項を合本して付番等の整合をとり、水化学管理検討会に提案することとした。
- (4) 溶存水素及び放射性よう素の分析法原案について
- 水野主査より、資料 P11WG6-4 および P11WG6-6 に基づき、溶存水素および放射性よう素の分析法原案について説明があった。主な審議内容は以下のとおりであり、次回の水化学管理検討会までに原案を改訂する。
- 1) 溶存水素の分析標準原案について
- ・ 「7.2 脱気分取抽出法」は、「7.2 抽出法」に変更する。
 - ・ 標準水素ガス JIS K 0114 ではなく JIS K0512 に修正。
 - ・ “分取容器”は“ガス捕集容器”とするなど用途が明確になるよう表記を変更する。
 - ・ 解説の「7.2 抽出法」に記載されている、図 7.2 に示すガス捕集容器を使用した場合の操作要領については削除する。
- 2) 放射性よう素について
- ・ 濃度表記を適正化する (I : 10g/L など)
 - ・ 8.1 沈殿法 d)操作 に腐食生成物濃度が高い場合には共沈操作が必要である旨を明記する。
 - ・ 8.2 陰イオン交換フィルタ法 a)試薬 に活性アルミナの役割(短半減期核種である F-18 の除去)を記載する。これにより 4 ページに記載の「備考」は削除する。
 - ・ メンブレンろ過装置は、吸引ろ過装置に記載を改め図 8.1 のタイトルを「メンブレンフィルタのセット法の一例」とする。
 - ・ 8.2 陰イオン交換フィルタ法 d)操作 に放射性よう素濃度および検出限界値の算出式を追加する。
 - ・ その他、誤記等字句の訂正を行なう。
- (5) 今後の予定
- a) 次回の作業会は 1 2 月 1 8 日 (木) に開催する。

以 上